



令和7年度 中津川市立付知中学校 学校経営の全体構想

《中津川市の方針》 よりよいひとりだち 生活・学習における 基礎基本の習得と たくましい子の育成 「知識と知恵」→「生きぬく力」	《学校の教育目標》 豊かさ 一 個の自主 厳しさ 一 集団の自主 たくましさ 一 調整力・粘り強さ 《校訓》 自主人格	《学校の課題》 ・確かな学力の育成 ・困難を乗り越えるたくましさの涵養 ・学校生活不適応生徒の増加 ・家庭での学習習慣の形成 ・若手の職員の指導力育成
《目指す学校像》 質の高いものを求めて、粘り強く取り組み、成果をあげることのできる付知中学校 《指導の方針》 生徒の思いに寄り添う		

《指導の重点》

確実に学力を身につける 「授業づくり」	温かい人間関係と規律のある 「生活づくり」	保護者・地域とともに歩む 「連携づくり」
1. 「3つの見届ける」のある授業 ・生徒の主体的な活動を柱とした授業構成 ・「3つの見届ける」 ① 実態の把握 ② 学習状況の把握 ③ 定着状況の把握 ・ICT 機器の効果的な活用 2. 【研究推進】 「授業終末の評価活動の充実を通して、すべての生徒が課題の達成を実感し、学ぶ意欲を高めることのできる授業」 3. 【一点突破】 「授業終末に、生徒が自己肯定感を高められるような、本時の学びに対する振り返りの実施」	1. 主体的な活動を生かす生徒会活動 ・ 「目指す生徒像」 を目標として、生徒の意識を活かし、自治的な活動を通して主体性を育てる。 ・キャンペーン活動から習慣化へのレベルアップ 2. よりよい仲間関係を追求する学級経営 ・経営案を基にした計画的な指導 ・折り合いをつけられる話し合い活動 ・合唱の取り組みを活かした実践 3. 学習の基盤となる生活習慣づくり ・画面視聴時間を セルフコントロール できるようにする指導 ・「付知中一行詩」の効果的な活用 ・主体的な取り組みに繋がるキャリア教育	1. 将来の夢や希望をもてる総合的な学習の時間 ・地域の一員として「付知を知る・学ぶ・提言する」を探求的に取り組む。 2. コミュニティースクールとしての地域との連携 ・まちづくり協議会を中心とした外部団体との情報共有と事業推進 ・ボランティアや地域行事などへ参加など協働的な活動の推進 3. 家庭における学習習慣の形成 ・「学力アッププログラム」などを活用した学習習慣づくり（画面視聴時間の減少） 4. 休日部活動の地域移行 ・NPO つけちスポーツクラブとの連携による地域移行の推進

「居場所と絆」のある“来たくなる学校”づくり

- 一人ひとりを大切にする教育の推進（人権尊重の気風づくり）
 - いじめの未然防止・早期発見・早期対応の実施
- 不登校や学校生活不適応への積極的対応（教育相談力の向上）
 - よりよい仲間関係づくりと自己肯定感、自己有用感の育成への指導の重点化

《指導の基盤》

■ねらいを明確にした指導と評価の徹底 ◎ 生徒の実態に即した効果的な指導の実践 ○ 指導と評価の一体化 ○ 個に応じた評価の場や方法の工夫・改善	■指導体制の強化 ◎ 情報を共有して、チームによる指導体制を確立する ○ 指導の質を下げない働き方改革の推進 ○ 指導力向上のための研修の実施
《目指す職員集団の姿》 生徒や保護者に「納得できる指導」ができるプロ集団 ○ 徹して生徒につく ○ 受容と毅然 ○ 教育相談的対応 ○ コンプライアンス ○ 心理的安全性	